

期間：令和５年度～令和９年度

目的：地域医療や超高齢社会に向けたまちづくりのなかで果たすべき役割を明確にし、最適化・強化することで地域より求められる医療サービスを提供し、病院の持続可能な成長と中長期的な価値向上を目指す

### 1. 東部医療圏における当院の機能と役割

- ・ 超高齢社会に向けて行政と連携して医療福祉の強化推進を行う。
- ・ 東部医療圏の中核的病院として、地域の医療機関と連携・協調を図る。
- ・ 救急医療については主に二次救急を担当し、地域の救急医療に貢献する。
- ・ 患者の状態に応じて治す医療から支える医療・介護の双方も含めた医療提供の充実を図る。
- ・ 急性期から回復期医療，さらに在宅医療，必要に応じて訪問医療（歯科，看護，リハビリテーション等）も含めた切れ目のない医療提供を行う。

### 2. 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ 労働時間を適正に把握するための出退勤システムの導入や ICT の活用などに取り組む。
- ・ 地域の急性期病院との役割分担、診療所や施設、慢性期病院との病診連携を推進する。
- ・ 部署や職種を超えたタスクシフト/シェアの推進のために必要な技術・資格の習得を支援する。
- ・ 働き方改革は、医師以外の職員にとっても重要であり、全職場・職種で具体的な取組を推進する。

### 3. 経営形態の見直し

- ・ 現在の地方公営企業法全部適用病院としての経営形態を保持する。
- ・ 経営状態が悪化もしくは回復が見込めない場合や自治体病院としての医療提供体制が維持できない場合は他の経営形態を検討する。

### 4. 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組

- ・ 公立病院として行政や他の医療機関と密に連携を図りながら、新興感染症の発生・まん延時に担うべき医療の提供を行う。
- ・ 専門人材の確保・育成などの体制を維持強化し、新興感染症流行時には部署横断的なチームを即座に編成できるよう備える。
- ・ 防護具等の備蓄や感染対策指針・マニュアルの見直し等を行い、感染対策の一層の強化を図る。
- ・ 感染拡大時に備えて個室化等の必要な病棟改修を行う。

## 5. 施設・設備の最適化

- ・ 現在, 当院の施設は改修時期を迎えており, 医療機器更新及び施設設備の改修・修繕の中長期計画を立て, 計画的な更新を行う。
- ・ 医療機器は長期的に当院及び圏域医療においての必要性を検討したうえで計画的な配置を行う。
- ・ 情報関連機器には国のガイドラインに沿ったセキュリティ対策を講じるとともに, 必要に応じてシステム改修の早期・適切な対応を行う。
- ・ 院内用スマートフォンの導入, 電子カルテとの連携, 院内 SNS, 音声入力など医療 DX 対応していく。
- ・ 職員に対し情報セキュリティや個人情報保護に関する研修を行う。
- ・ 病棟改修後の患者状況によっては病床削減も検討する。

## 6. 経営の効率化等

- ・ 財務及び医療機能に係る数値目標を設置し, 評価・改善に努める。